

【報告】 片品川流域における大規模土砂災害に備えた 合同防災訓練を実施しました。

実施日時：平成24年10月3日（水） 13時00分～17時00分

実施場所：片品村役場

出席者：107名（内訳：訓練参加51名、見学36名、報道関係2名、事務局18名）

<実施目的>

近年、観測史上の記録を上回る大雨や集中豪雨が頻発し、全国的に土砂災害が多発しており、これまで以上に国や地方自治体等が連携して、迅速で的確な対応を行うことが求められています。このため、関係各機関の役割や情報伝達の検証を行うとともに、大規模な土砂災害が急迫した状況において、迅速かつ円滑に対処できる防災対応能力の向上を図ることを目的に、大規模土砂災害を想定した防災訓練を今回初めての試みとして実施しました。

訓練内容

・学習型訓練

- ステージⅠ【発災前の体制確保】
- ステージⅡ【広域調査～緊急調査指示】
- ステージⅢ【緊急調査の実施の通知～
住民の避難完了】
- ステージⅣ【応急対策の実施事項や
役割分担の決定】

・アンケート調査

・反省会・意見交換

反省、感想など様々な意見交換が行われました。（以下一例）

- ・災害対応の流れがわかった。
- ・司会進行役のリードが重要。
- ・検討のための時間を設けてはどうか。
- ・監視・観測計画や応急対策工をスクリーンに投影できるとよかった。
- ・これを機に具体的な応援体制をつくりたい。
- ・認識を新たにしたい。
- ・大規模災害の経験がない中で参考になった。
- ・他機関の対策を見られてよかった。
- ・災害時に負担の大きい市町村の支援をお願いしたい。
- ・まんべんなく質問があるとよかった。
- ・警察、消防にも参加してもらってはどうか。

訓練状況

西所長による開会挨拶



訓練の様子

